

積層セラミックコンデンサ PET フィルムのリサイクル化を実現

- 通常、サーマルリサイクルや焼却処分される PET フィルムを再利用
- リサイクル PET フィルムの使用率 20%に向け実用開始

2022年1月14日

TDK 株式会社（社長：石黒 成直）は、積層セラミックコンデンサ（以下、MLCC）の製造工程で使用される PET フィルムを再利用するリサイクルシステムの構築に電子部品業界で初めて^{*1}成功したことを発表します。

通常、MLCC の製造工程で誘電体ペーストを塗布する際に使用される PET フィルムの表面には特殊処理が施されており、現在、製造工程での使用後は主にサーマルリサイクルや焼却処分されています。

本システムでは、廃棄する PET フィルムの表面を洗浄し、その後 PET 樹脂（ペレット状）に戻し、本件協業先である東レ株式会社（東京都中央区、以下、東レ）にて製膜化を行います。そのフィルムを TDK が調達し特殊処理を施すことにより MLCC の製造工程での再利用が可能となりました。なお、本システムで使用するリサイクル PET フィルムは、従来の PET フィルムに対し CO₂が約 10% 削減^{*2}されています。

本システムは 2022 年 1 月から順次導入し、MLCC 向けのリサイクル PET フィルムの使用を開始します。さらに MLCC 以外の当社製品にも使用していくことで、リサイクル PET フィルムの使用率を 20%まで高め、廃棄物の削減や CO₂削減に貢献します。

当社グループは、「地球環境との共生」を社会の持続可能な発展のために重要な経営課題の一つとして位置づけてその対応に取り組んでおり、「TDK 環境ビジョン 2035」の中で「ライフサイクル的視点での環境負荷の削減をテーマに、2014 年度を基準として 2035 年度までに CO₂排出量原単位を半減」という目標を掲げております。事業活動における環境負荷の最小化と自然環境の育成、お客様と社会に貢献する製品の提供が企業の責務であるとの認識を持って、この目標の達成に向けて一層貢献してまいります。

*1 2021 年 12 月現在、TDK 調べ

*2 PET フィルムの製造工程で発生する CO₂のこと、東レ調べ

用語集

- PET : polyethylene terephthalate の略。ポリエチレンテレフタラート。
- サーマルリサイクル：廃棄物 を単に焼却処理せず、焼却の際に発生する 熱エネルギー を回収・利 用すること。

主な特長と利点

- 通常、焼却処分される PET フィルムを再利用
- 従来の PET フィルムに対し CO₂が約 10% 削減^{*2}されたリサイクル PET フィルムを使用

TDK 株式会社について

TDK 株式会社（本社：東京）は、スマート社会における電子デバイスソリューションのリーディングカンパニーを目指しています。独自の磁性素材技術をその DNA とし、最先端の技術革新で未来を引き寄せ（**Attracting Tomorrow**）、社会の変革に貢献してまいります。

当社は各種エレクトロニクス機器において幅広く使われている電子材料の「フェライト」を事業化する目的で 1935 年に設立されました。主力製品は、積層セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクタ、フェライトコア、高周波部品、ピエゾおよび保護部品等の各種受動部品をはじめ、温度、圧力、磁気、MEMS センサなどのセンサおよびセンサシステムがあります。さらに、磁気ヘッドや電源、二次電池などです。これらの製品ブランドとしては、TDK、EPCOS、InvenSense、Micronas、Tronics、TDK-Lambda があります。

アジア、ヨーロッパ、北米、南米に設計、製造、販売のネットワークを有し、自動車、産業電子機器、コンシューマー製品、そして情報通信機器など幅広い分野においてビジネスを展開しています。2021 年 3 月期の売上は約 1 兆 4790 億円で、従業員総数は全世界で約 129,000 人です。

本文および関連する画像は https://www.tdk.com/ja/news_center/press/20220114_01.html からダウンロードできます。

報道関係者の問い合わせ先

担当者	所属	電話番号	Email Address
大須賀	TDK 株式会社 広報グループ	+81 3 6778-1055	pr@jp.tdk.com